

施策の概要	
基本目標(政策)	1 支え合い、元気に暮らすまち
個別目標(達成方針)	1-2 健康な心や体を市民自らがつくる気持ちを育てる【2健康づくり】
主要施策	1-2-1 生活習慣病等や感染症の予防をすすめる

担当部名	健康福祉部
担当課名	健康推進課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
保健健康教育・相談事業	生活習慣病の発症予防と重症化予防を徹底するために、訪問や相談事業を実施し、特に糖尿病の重症化予防に重点をおいた保健指導を実施。	
各種検診事業	特定健康診査及び人間ドック等を実施し、生活習慣病の発症予防、重症化予防を図る。がんの早期発見、早期治療によりがんの死亡を減少させる。	
予防対策事業	定期予防接種、任意予防接種の実施、小学校・幼稚園・保育園のフッ化物洗口の実施	
健康サポート連携事業	医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携し、住民の健康増進と生活習慣病予防の強化を図る。	

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
2,985	4,006
99,618	112,142
140,644	150,992
749	766
合計	合計
243,996	267,906

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(√の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
特定健康診査	上昇☑	33.0%(H22)	41.0%	43.7%	41.0%	59.0%	69.5%	△	
特定保健指導	上昇☑	52.2%(H22)	91.6%	91.2%	57.6%	60.0%	96.0%	△	
糖尿病が強く疑われる人・可能性が否定できない人の割合	改善☑	29.3%(H22)	24.6%	27.8%	27.6%	20.0%	72.5%	△	
各種予防接種の接種率	上昇☑	89.7%(H22)	92.1%	95.2%	99.6%	95.0%	104.8%	◎	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)	実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
	基準値(年度)			H28					
特定健診・特定保健指導受診率(戦略5-3)	特定健診受診率	41.0%(H26)	41.0%	60%	68.3%	△			
	特定保健指導受診率	91.2%(H26)	57.6%	92%	62.6%	○			
各種がん検診受診率(戦略5-3)	胃がん	8.1%(H26)	9.5%	20%	47.5%	△			
	肺がん	18.4%(H26)	21.1%	20%	105.5%	◎			
	大腸がん	22.9%(H26)	20.9%	25%	83.6%	△			
	子宮頸がん	34.9%(H26)	32.8%	40%	82.0%	△			
生活習慣病の発症及び重症化予防(戦略5-3)	乳がん	41.4%(H26)	37.7%	45%	83.8%	△			
	生活習慣病医療費割合	26.8%(H26)	23.5%	25%以下	106.4%	◎			
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	事業に要した再生紙を削減した			

事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)
保健健康教育・相談事業	高額医療費である人工透析導入者減少に向け、糖尿病等重症化予防に努める。	糖尿病重症化予防プログラムの作成、管理台帳の整備により、重症化予防対象者を明確にして、糖尿病の早期治療や治療継続、メタボ改善など効果的な保健指導を実施する。
各種検診事業	医療費適正化を図るため、特定健診及びがん検診受診率の向上の取組強化。	特定健診未受診者の台帳を作成し、地区担当者が受診勧奨に当たる。受診率の低い地区へはスタッフを強化する。
予防対策事業	予防接種への不信感に伴う未接種保護者への対応。	勧奨通知を出し、地道に理解を求める。
健康サポート連携事業	医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携。	事業に協力してもらうため、連携会議を開催し、事業の計画や実施状況を報告していく。

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	特定健診・特定保健指導は、H28年度評価の途中経過となるため低い。 各種がん検診については、ドックや職場健診での受診者もいることから、実際の受診率は若干の増加が見込まれる(ドック等の受診者数は把握できていない)。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	人工透析患者の減少に向けて、糖尿病などを予防する保健指導は重要である。医師会などとも連携し、千曲市独自の取り組みなどもどんどん進めてほしい。

施策の概要	
基本目標(政策)	1 支え合い、元気に暮らすまち
個別目標(達成方針)	1-4 高齢者が生きがいを持って暮らせる環境をつくる【4高齢者福祉】
主要施策	1-4-1 高齢者の生きがいと社会参加を支援する 1-4-2 高齢者の自立した生活を支援する 1-4-3 介護サービスを充実させる

担当部名	健康福祉部
担当課名	高齢福祉課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
シルバー人材センター運営補助事業	シルバー人材センターの事業を支援するため、運営費の補助を行う	-
長寿祝い事業	各地区で開催される慶祝事業を支援するため、補助金を交付する 高齢者の長寿(88歳・100歳)を祝うため、祝品の贈呈を行う	-
高齢者健康寿命延伸推進事業	千曲市独自の体操を創作し、普及をつうじて運動機能低下防止や市民の多世代交流による介護予防を図る	-
介護予防・地域支え合い事業	高齢者の在宅生活を支援するため、訪問理美容サービス・緊急通報システム設置事業など的高齢者福祉サービスを提供する	-
家族介護支援対策事業	家族介護者等の負担軽減を目的に、該当者へ慰労金を支給する	-
高齢者福祉施設管理運営事業	市所有の高齢者施設(老人コミュニティセンター・デイサービスセンター等)を管理運営し、高齢者に利用してもらう	-
高齢者福祉施設等建設事業	「しなのの里ゴールドプラン21」に基づく施設整備に対し、その建設費等を補助する	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
11,138	11,138
7,913	9,086
173	158
9,429	11,782
23,680	26,840
24,984	20,717
283,678	0
合計	合計
360,995	79,721

成果指標の達成度(Do2)								
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H26	H27	H28			
介護予防事業に参加した人の高齢者人口に対する割合	上昇☑	14.7%(H22)	21.6%	21.5%	22.9%	15.7%	145.9%	◎
高齢者が生きがいを持って暮らせる環境について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	31.9%(H22)	35.9%	29.6%	34.0%	60.0%	56.7%	△
シルバー人材センターの登録数	上昇☑	1,012人(H22)	836人	827人	825人	1,200人	68.8%	△
認知症サポーター・キャラバンメイト登録数	上昇☑	720人(H22)	2,311人	2,656人	2,819人	2,800人	100.7%	◎
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H26	H27	H28			
介護予防事業(平成31年度は介護予防・日常生活支援総合事業)へ参加の高齢者人口に対する割合(戦略5-4)			3,977人(H26) (21.6%)	4,349人 (22.9%)	4,608人 (24.3%)	94.4%	○	
市域担当の生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置数(戦略5-4)			0人(H27)	0人	1人	0.0%	△	
その他の達成状況								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点	選択肢			判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	各種会議等では資料の最小限化、再生紙利用及び5S活動課内での徹底			

事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)
シルバー人材センター運営補助事業	高齢者の生きがい・趣味・価値観等の多様化により、シルバー人材センターの登録者数が減少している	今後、登録者数は現状を維持することが必要と考える。更埴地域シルバー人材センターでは、県内の他のセンターに先駆け「派遣事業」をスタートさせ、「買い物支援サービス事業」にも取り組み、女性会員の確保にも努めている。老後の過ごし方は多様化しているが、これまでの経験を活かし、社会貢献をしたいと考える高齢者のため、引き続きシルバー人材センターの支援は必要である
長寿祝い事業	しばらくは高齢者人口が増加していくことから、事業費の増加が見込まれる	高齢化社会において、長寿に対する意識高揚が図れるよう、引き続き88歳・100歳の祝品贈呈及び地域で開催される慶祝事業への支援を継続していく
高齢者健康寿命延伸推進事業	体操の普及を図る	各種教室、サロン、会議などのあらゆる参集の場で体操を行う
介護予防・地域支え合い事業	しばらくは高齢者人口が増加していくことから、事業費の増加が見込まれる	高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り在宅生活が継続できるよう、引き続き高齢者福祉サービスの提供を継続していく
家族介護支援対策事業	家族等の介護者負担の軽減	在宅介護の推進ため、引き続き介護慰労金の支給を継続していく
高齢者福祉施設管理運営事業	施設の管理コストの増加	いずれの施設も老朽化が進んでいることから、定期的な修繕や設備更新を行っていく
高齢者福祉施設等建設事業	施設整備が進むことは、入所待機者の解消には有効である。併せて、サービス量が増えることは、介護保険給付の増加となる	施設整備の推進は介護保険料にも影響するため、第7期(H30年～H32年)ゴールドプラン21(介護保険事業計画)の中で考慮していく

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	各施策とも計画どおりに取り組み関係高齢者等の支援に繋がった。健康体操「あん姫いきいき体操」は、今後高齢者を中心に機会あるごとに普及していく。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	高齢者の雇用対策は、シルバー人材センターへの運営補助だけでなく、市内企業に対する定年延長や高齢者雇用の要請、すでに取り組んでいる市内企業への支援などを検討をすべきである。

施策の概要	
基本目標(政策)	2 ふるさとの自慢を未来に継ぐまち
個別目標(達成方針)	2-1 豊かな歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ【8歴史・文化財】
主要施策	2-1-1 貴重な文化財を守る 2-1-2 文化財保護意識の啓発・育成をすすめる

担当部名	
担当課名	
教育委員会	
歴史文化財センター	

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
文化財一般管理事業	・市指定文化財に屋代遺跡群水田遺構出土祭祀遺物を指定 ・重要文化財「智識寺大御堂」保存修理工事に補助を実施 (H29に繰越)	
城山史跡公園管理運営事業	・二の郭兵舎内の展示内容の更新を実施	
名勝嫉捨整備事業	・名勝指定地内の水路、農道の修理工事を実施	
重要伝統的建造物群保存推進事業	・重伝建選定地の特定物件の修理2件を実施 ・H29までの2か年計画で、稲荷山地区防災計画を策定	
埋蔵文化財発掘調査事業	・公共、民間の開発事業の伴う埋蔵文化財の保護を実施	
古墳館歴史公園整備事業	・森將軍塚古墳の補修事業はH28で完了	H28
松田家資料整備事業	・松田家堀等修理工事を実施 ・H29.3に松田家一部公開を実施。期間中1,200名を超える見学者があった	H31

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
4,802	3,766
4,332	6,658
8,316	10,965
17,305	25,134
3,964	8,599
65,503	0
18,524	26,344
合計	合計
113,612	71,042

成果指標の達成度(Do2)								
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				達成率A/B(〇の場合B/A)		
		基準値(年度)	H26	H27	H28	目標値H28(B)	達成率A/B	達成状況
歴史・文化的遺産の整備・継承について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	53.2%(H23)	53.7%	48.7%	51.8%	60.0%	86.3%	△
博物館・史跡公園の入館(場)者数	上昇☑	49,522人(H22)	45,641人	46,071人	47,992人	52,400人	91.6%	△
国・県・市指定文化財数	上昇☑	125件(H22)	144件	146件	147件	130件	113.1%	◎
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値H31(B)	達成率A/B	達成状況
		基準値(年度)			H28			
建造物修理・修景事業(戦略4-3)		修理	1件(H27)	3件	13件	23.1%	○	
		修景	0件(H27)	0件	7件	0.0%	○	
「蔵し館」の入場者数(戦略4-3)			1,749人(H26)	1,653人	3,000人	55.1%	△	
「ふる里漫画館」の入場者数(戦略4-3)			1,552人(H26)	1,650人	2,000人	82.5%	△	
その他の達成状況								
・協働事業提案制度により「さらしなルネサンス」とさらしなの魅力を再発見する「美しさらしな」を発行した								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	名勝嫉捨整備事業では、特に景観に配慮した工法で施工			

事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)
文化財一般管理事業	・文化財の修理には多くの経費がかかるため、所有者の負担が課題。	・国、県の補助が受けられるよう、補助事業計画をたててまいりたい。
城山史跡公園管理運営事業	・施設の老朽化が深刻化しており、一部立入禁止としている箇所がある。	・来場者の安全確保を図るため、早期に補修工事が行なえるよう努めてまいりたい。
名勝姨捨整備事業	・棚田耕作の担い手確保が課題。	・「姨捨棚田の整備計画」の策定作業を実施しており、担い手確保策についても検討を開始。
重要伝統的建造物群保存推進事業	・建物規模が大きいものが多く、修理費用が高額となってしまう。 ・修理内容の確認を行なう専門の建築技師が必要。	・建物の修理工事実績を積み重ねることにより、住民の理解と協力を求めてまいりたい。
埋蔵文化財発掘調査事業	・埋蔵文化財包蔵地における民間開発行為の把握 ・建築確認の必要ない開発行為の把握方法が課題	・埋蔵文化財保護について、事業者への周知を徹底して行ない、理解を求めてまいりたい。
古墳館歴史公園整備事業	・古墳の補修工事は10～20年ごとの計画的な補修が必要。 ・古墳館、歴史公園施設の老朽化が進み、改修が必要。	・古墳修理工法の工夫を行ない、次に補修事業を実施するまでの期間の拡大に努めた。 ・公園施設の改修にあたっては、財源確保に努める。
松田家資料整備事業	・松田家建物等の修理事業開始から10年以上が経過していることから、早急な全面公開が必要。 ・歴史資料が多数あり、専門の学芸員配置が必要。	・H29年度から街環整備事業交付金により事業実施ができることとなった。 ・平成30年度全面公開に向けて整備を実施する。

#### 内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)

<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史、文化遺産の保護は、次世代への遺産継承として重要である。また、文化遺産を地域振興や観光資源として積極的に活用してまいりたい。</li> <li>・平成28年5月に「千曲市歴史的風致地区維持向上計画」が認定されたので、地域住民と計画の実現に向けて取り組んでまいりたい。</li> </ul>
----------	--

#### 外部評価(外部評価委員の意見)

<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「蔵し館」の入場者数が減ってきてしまっているが、目標3,000人(H31)を達成するには、増加させていかなければならない。重伝建の修理・修景事業を進めて行く中でも、既存の施設の宣伝などを進め、集客を図っていただきたい。</li> <li>・歴史文化財センターのみならず、観光交流課などと連携して事業を展開していくべきである。</li> </ul>
----------	---

施策の概要	
基本目標(政策)	2 ふるさとの自慢を未来に継ぐまち
個別目標(達成方針)	2-3 景観の美しいまちをつくる【10景観形成】
主要施策	2-3-1 歴史や文化を感じる景観を形成する 2-3-2 地域の特性を生かした良好な景観をつくる

担当部名	建設部
担当課名	都市計画課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
都市計画策定事業	千曲市景観計画の周知・推進 千曲市歴史的風致維持向上計画の策定・周知・推進	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
1,496	0
合計	合計
1,496	0

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(△の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
自然や歴史・文化を感じる景観の形成について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	41.5%(H23)	46.0%	40.4%	45.7%	60.0%	76.2%	△	
景観形成住民協定締結地区数	上昇☑	1地区(H22)	1地区	1地区	1地区	2地区	50.0%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)	実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
	基準値(年度)			H28					
その他の達成状況									
千曲市では、「千曲市歴史的風致維持向上計画」を策定することにより、市内の歴史的遺跡(姨捨の棚田や稲荷山の重要伝統的建造物群保存地区等)を守るための事業を行っている。古きまちなみや景観を維持していく計画を策定する事により、住民の景観に対する意識の向上につながり、稲荷山地区では新たに3件の各種法人等が立ち上がり法人数が3件から6件に倍増し、地域住民の意識も高まってきている。									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
都市計画策定事業	・姨捨の棚田はH22.2に「重要文化的景観」に選定され、稲荷山の一部はH26.12に「国の重要伝統的建造物群保存地区」に選定されたが、千曲市景観計画はH21.8策定時より見直しを行っていない。そのため、現状に合った計画の見直しが必要。	・千曲市景観計画の見直しを行い、現状に合ったものにしていく。(稲荷山の重要伝統的建造物群保存地区の景観形成重点地区の指定について等検討) ・景観計画の見直しを行うことにより、住民の景観に対する意識の向上を一層高めていく。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	景観に対する要望・意見が多いことを考えると住民の意識は高まってきていると感じる。そのため、住民や専門家の意見を取り入れながら、景観計画の早急な見直しが必要と考える。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	3 市民が憩い、心穏やかに暮らせるまち
個別目標(達成方針)	3-4 地球環境の保全を意識した社会をつくる【16地球環境保全】
主要施策	3-4-1 環境にやさしい行動を広める 3-4-2 公害の心配のないまちをつくる 3-4-3 CO2の発生量の少ない生活をすすめる

担当部名
担当課名
市民環境部 環境課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
環境推進事業	NPO法人千曲市環境市民会議、千曲市地球温暖化対策協議会等と連携を取り、環境基本計画に基づく各種プロジェクトを推進し、地球環境の保全を図る。	—
省エネ・新エネ推進事業	新エネルギー活用のための補助金交付を行う。	H27

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
2,624	2,508
0	0
合計	合計
0	0

成果指標の達成度(Do2)								
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H26	H27	H28			
年間のCO2の排出量(市)	維持▶	433,537t (H21)	438,562t	433,320t	455,042t	現状維持	95.3%	△
環境マネジメントシステムの取り組み事業所	上昇▶	25事業所 (H22)	23事業所	30事業所	31事業所	30事業所	103.3%	◎
買い物時のマイバック持参率	上昇▶	50.4% (H22)	62.5%	65.0%	60.7%	60.0%	101.2%	◎
市内一斉美化活動への参加者	上昇▶	12,153人 (H22)	11,765人	11,547人	11,136人	20,000人	55.7%	△
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)	実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
	基準値(年度)			H28				
その他の達成状況								
市・NPO法人千曲市環境市民会議の協働により、千曲市環境基本計画10周年記念「千曲市環境フェア」を実施し、市民の環境意識の向上を図った。千曲市温暖化対策推進協議会では、「環境に関する講演会」「打ち水」「マイバックの作成・配布」「小学生への環境冊子の配布」「地球環境デーの実施」「地球温暖化防止の出前講座」等、様々な地球温暖化防止の啓発活動を実施した。								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	市民との協働により環境事業を実施した。			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
環境推進事業	NPO法人千曲市環境市民会議、千曲市地球温暖化対策協議会と、一層連携を深めて事業を推進する。	地球温暖化防止の啓発活動に、一層力を入れる。また、子ども達の環境教育も重要になってくることから、保育園や小中学校とも連携して事業を進めたい。			
省エネ・新エネ推進事業	4年間の補助金交付事業により、一定の成果を得ることができた。今後は、新しい施策の検討が課題。	一定の成果を得たことにより、平成27年度をもって補助金交付事業を終了。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	環境基本計画に基づき、NPO法人千曲市環境市民会議、千曲市地球温暖化対策協議会等との協働により事業を進めることができた。昨年11月のパリ協定の発効に伴い、地球温暖化対策は世界的にも重要な課題であり、今後は地球温暖化防止の啓発活動を中心に事業を強化したい。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	3 市民が憩い、心穏やかに暮らせるまち
個別目標(達成方針)	3-5 安全で安心な暮らしを確保する【17安全・安心】
主要施策	3-5-1 災害に強いまちをつくる

担当部名	総務部
担当課名	危機管理防災課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
消防団運営事業	消防団の円滑な運営を図り、あらゆる災害に対応できる消防団員の育成を行う。	
消防施設管理事業	消防施設の維持補修及び管理を行う。	
防災対策事業	防災関連の各種事業及び施設整備・維持補修を行う。	

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
48,004	53,541
7,522	6,978
25,485	35,318
合計	合計
81,011	95,837

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(△の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
消防・防災体制の整備、交通安全・防犯体制の充実について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	51.3%(H23)	53.9%	52.9%	51.2%	70.0%	73.1%	△	
自主防災組織の組織化率	上昇☑	96.8%(H22)	98.6%	100.0%	100.0%	100%	100.0%	◎	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)			H28				
都市圏自治体との防災協定件数(戦略2-3)		/			0件(H27)	0件	1件	0.0%	△
消防団サポートショップ加入数(戦略4-5)		/			4店(H26)	14店	14店	100.0%	◎
消防団員数(戦略4-5)		/			806人(H26)	824人	817人	100.9%	○
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	b
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
消防団運営事業	消防団員の高齢化が進み、退団する団員が今後増えることが想定される。	消防団員の負担を軽減し、活動しやすい環境づくりを進め、新入団員の確保に努める。			
消防施設管理事業	老朽化が進んでいる消防施設が多数存在する。	施設の重要度や損壊状況から優先順位を決め、重要度が高く老朽化が著しい施設から維持修繕を進める。			
防災対策事業	屋外告知放送の難聴地域の解消や、メール配信サービスの登録者があまり増加していない。	メール配信サービスへの登録を推進する。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)

<b>B</b>	<p>消防団組織は、災害時における機動力、動員力という観点から代替性のない重要な組織であり、団員の確保が課題であるため、活動環境や福利厚生の整備・充実を図り、新入団員の確保に努めている。</p> <p>詰所等消防施設の老朽化が進んでいるため、予算の配分や優先度を考慮して実施している。</p> <p>災害時における確実な情報伝達を行うため、緊急速報メールや登録メールの配信、災害時ツイッター、県防災システムとの連携等、あらゆる手段を取り入れ、さらに防災行政無線導入に向けて最善のシステムになるよう検討している。</p> <p>災害に強いまちをつくるためには、地域住民の防災に対する意識の高揚が非常に重要であることから、住民一人ひとりが自らの身体や地域を守る自助、共助の重要性について防災訓練等を通じて啓発を継続して行っていく。</p>
----------	---

外部評価(外部評価委員の意見)

<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団の会計状況については、市に対しては報告を行っているようだが、区・自治会などに対して報告していないと思われるので、区自治会に対しても会計状況を公表していくべきである。</li> <li>・消防団員の確保という課題について、団員の福利厚生はもちろん必要であると思うが、団員が所属する企業の理解も必要であることから、市内企業に対する優遇にももっと力を入れてほしい。</li> </ul>
----------	---

施策の概要	
基本目標(政策)	4のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-1「千曲っ子」を元気に生み育てられる環境をつくる【19子育て】
主要施策	4-1-1 安心して子育てができる環境をつくる 4-1-2 子育て家庭を支援する

担当部名
担当課名
次世代支援部 こども未来課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
保育所施設整備事業	公立保育園の施設整備に係る事業(H28は増生保育園アスベスト分析調査他)	
保育所管理運営事業	公立保育園12園の管理運営に係る事業	
私立保育所運営事業	私立保育園4園の運営に係る事業	
私立認定こども園建設費補助事業	認定こども園(稲荷山くるみこども園)の施設整備に係る事業	28
マタニティータクシー利用料金助成事業	妊婦を対象に外出時の交通費を助成することにより、妊娠期の母体への負担軽減をし、妊婦の生活と出産を支援する事業	
病児・病後児保育事業	児童が病気の治療中又は病気の回復期にある児童が集団保育及び保護者による保育が困難な場合一時的に保育士保護者の就労支援を行う事業	
あかちゃんSA(サービスエリア)整備事業	施設内に授乳及びおむつ替え施設を整備することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境を整備するための事業	
児童養護施設建設費補助事業	児童養護施設が長野市から千曲市に移転することに伴い、今後市と施設、地域が一丸となって子育て環境が醸成されるための補助事業	28
子育て支援活動費補助事業	子育て支援の充実を図るため、子育てに関わる団体が行う子育てを支援する活動に補助する事業	
子どもの生活・学習支援事業	子どもの基本的な生活習慣を支援するため、学習支援や調理実習、食事の提供を行う事業	
子育て支援センター管理運営事業	乳幼児及びその家族等を中心に子育て支援活動をするための管理運営事業	

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
1,056	24,050
365,463	378,782
396,135	484,858
38,556	0
586	1,000
7,171	9,113
0	200
15,500	0
100	250
0	2,300
11,396	12,053
合計	合計
11,396	12,053

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(〳の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
子育て支援センターの年間利用者数	上昇☑	37,505人(H22)	41,381人	43,041人	39,843人	39,400人	101.1%	◎	
ファミリーサポートセンターの年間利用者数	上昇☑	1,092人(H22)	1,078人	1,089人	923人	1,150人	80.3%	△	
家庭児童相談の年間件数	維持☑	1,817件(H22)	1,393件	3,089件	3,350件	1,850件	181.1%	◎	
長時間保育・一時保育・日曜保育の年間利用者数	上昇☑	7,192人(H22)	18,618人	17,894人	14,988人	7,540人	198.8%	◎	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)		H28					
マタニティータクシー助成券の有効期限満了時の利用率(戦略3-1)				0%(H27)	34.7%	80.0%	43.4%	○	
市支援策による婚姻数(戦略3-1)				8件(H26)	5件	12件	41.7%	△	
コミュニティサイトの訪問回数(戦略3-3)				0回(H27)	0回	10,000回	0.0%	△	
年間フェイスブック記事延べアップ数(戦略3-3)				0件(H27)	28回	150回	18.7%	△	
サークル補助金申請数(戦略3-3)				2件(H27)	2件	10件	20.0%	△	
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
保育所施設整備事業	保育所施設の計画的な建替え及び耐震化の併用による施設整備	千曲市公共施設等総合管理計画に基づいて整備を進める。			
保育所管理運営事業	保育士の確保に向けた取り組み。とりわけ年度途中の入所希望者の対応策を講じる必要がある。	市報、ハローワークを通じて引き続き、保育士募集を行う。			
私立保育所運営事業	私立保育所運営費補助金内容の見直し及び私立保育所の保育士不足の解消に繋がる処遇加算補助金の構築が必要。	未満児保育需要の増加に伴う私立保育園の保育士不足を解消する為、保育士処遇加算に繋がる補助金を構築していく事により千曲市の未満児受入数を増やしていく。			
私立認定こども園建設費補助事業	終了	終了			
マタニティータクシー利用料金助成事業	目標の43%程度の利用はあることから継続事業として必要である	引き続き、利用促進に努める			
病児・病後児保育事業	セフティネットとしての役割から利用人数は少ないものの、保護者の就労支援となっている。	保護者の周知が必要なため、保育所を通じて、周知に努める			
あかちゃんSA(サービスエリア)整備事業	事業者への周知が課題となっている	商工会、商工会議所を通じて、事業者への周知を図る			
児童養護施設建設費補助事業	終了				
子育て支援活動費補助事業	子育て団体への周知が課題となっている	子育て団体への周知を図る			
子どもの生活・学習支援事業	本年開始した事業であり、現在は人数も少ない。	協働事業者と協力し、学習支援等の充実に努め、参加人数の確保を図る。参加児童等が来づらくなならないような周知に務める。			
子育て支援センター管理運営事業	利用人数が多く、特に更埴子育て支援センターの利用者が多い。	利用者が更埴子育て支援センターに偏らないよう上山田子育て支援センターの利用促進に努める。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
<b>B</b>	新規事業が多く、利用人数等が少ない事業もあるが、引き続き行うことで事業の充実を図っている。

外部評価(外部評価委員の意見)	
<b>B</b>	保育士の確保の課題について、改善計画が「市報、ハローワークを通じて引き続き、保育士の募集を行う」という程度では、確保が難しいのではないか。

施策の概要	
基本目標(政策)	4 のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-1「千曲っ子」を元気に生み育てられる環境をつくる【19子育て】
主要施策	4-1-2 子育て家庭を支援する

担当部名	健康福祉部
担当課名	健康推進課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
母子保健事業	母子保健法に基づく母性の健康の保持並びに乳幼児の健やかな成長・発達を促すための事業	

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
52,557	58,151
合計	合計
52,557	58,151

成果指標の達成度(Do2) ★は「総合計画」の成果指標						達成率A/B(〇の場合B/A)			
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
乳幼児健診受診率	上昇☑	93.5%(H22)	97.4%	97.1%	97.2%	100%	97.2%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)			H28				
妊婦一般健康診査受診券利用率(戦略3-1)					94.2%(H26)	87.8%	95%	92.4%	△
乳幼児健診受診率(戦略3-1)					97.3%(H26)	97.2%	98%	99.2%	○
不妊治療助成件数(戦略3-1)					30件(H26)	35件	35件	100.0%	◎
その他の達成状況									
母及び乳幼児の健康の保持の増進 母子健康手帳交付372冊、育児相談利用者数783人、個別心理・言語相談197人、子どもノート配布408人									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	公用車の利用を削減した			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
母子保健事業	妊婦一般健康診査受診券利用率については、母子健康手帳交付時に23枚交付しているが、妊娠中に転出する者、早期出産の者等もあり、利用率のみで施策評価とすることは難しい。	妊婦一般健康診査受診券利用と併せ、個別相談等具体的支援により、母子の健康保持・増進のため、妊娠中から出産・育児に渡る切れ目のない支援を充実していく。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	妊婦一般健康診査受診券利用率・乳幼児健診受診率は約9割と高率になっている。また、不妊治療助成については目標35件を達成できた。引き続き母性の健康の保持並びに乳幼児の健やかな成長・発達を促すために事業に取り組む。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	4のびのびと社会にはばたく人が育つまち
個別目標(達成方針)	4-4 個性と能力を發揮できる男女共同参画社会をつくる【22男女共同参画】
主要施策	4-4-1 男女が互いに認め合い協力して住みよいまちをつくる

担当部名	健康福祉部
担当課名	人権・男女共同参画課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
男女共同参画推進事業	「第3次千曲市男女共同参画計画」のもと、活力ある男女共同参画社会の実現のための事業を行う。	

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
527	1,033
合計	合計
527	1,033

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(〇の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
男女共同参画社会に向けた取り組みについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	32.4%(H23)	31.8%	29.1%	31.5%	55%	57.3%	△	
市の審議会等における女性の参画率	上昇☑	31.7%(H22)	26.6%	25.1%	27.4%	40%	68.5%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)		H28					
父親・母親の育児・介護休業取得(戦略3-4)	父		0.1%(H26)	0.1	2.0%	5.0%	△		
	母		9.9%(H26)	9.9	10.0%	99.0%	○		
「社員の子育て応援宣言」登録企業数(戦略3-4)			17社(H27)	25社	56社	44.6%	○		
その他の達成状況									
男女共同参画社会の人材を育成し、個人のスキルアップを図るため、長野県共催のセミナーや5回シリーズのセミナーを開催した。男女共同参画団体との共催等により、各種事業に対する市民の協力体制が更に整いつつある。									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	講座パンフレットや会議資料については、必要部数のみ、両面刷り等を徹底し、紙の使用削減を図った。			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
男女共同参画推進事業	「第3次男女共同参画計画」に掲げた女性の公職参加率の目標40%については、かなり高い目標設定であるため、実現に向けて、より一層の努力が必要である。	女性のいない審議会等の解消に向けた意識啓発を行うとともに、目標に及ばない審議会等については、その原因を精査する。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	平成28年4月に「女性活躍推進法」が全面施行となって1年が経過し、女性の就業率が上昇しているにもかかわらず、管理的職業従事者については、依然として低い水準に留まっている。社会全体の意識改革は、一朝一夕で実現できるものではないため、市としても、セミナーの開催、「イクボス・温かボス宣言」の企業への働きかけなど、地道ではあるが、市民と共に男女共同参画実現のための事業を推進していきたい。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	5 千曲の魅力が交流と活力をはぐくむまち
個別目標(達成方針)	5-1 交流を活発にする都市空間を整備する【24都市基盤】
主要施策	5-1-3 地域公共交通機関を充実させる

担当部名	市民環境部
担当課名	生活安全課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
しなの鉄道屋代駅エレベーター設置等事業	屋代駅にエレベーターとこ線橋を新設する事業に対して、しなの鉄道の事業費の一部を負担することで駅のバリアフリー化を図った。	H28
デマンド型乗合タクシー運行事業	更埴東部地区において予約制のデマンド型乗合タクシーを導入することにより、効率的運行と利便性の向上を図っている。	-
循環バス運行事業	現在、循環バスを9路線を運行しているが、利用者の意見及び地域要望等を反映したダイヤ編成やルートの見直しにより、利便性の向上を図っている。	-
しなの鉄道受託駅運営事業	しなの鉄道の受託駅である屋代高校前駅と千曲駅において、駅員及び駅業務員を配置することで円滑な駅業務を遂行している。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
110,980	-
8,737	7,000
77,286	70,000
15,746	15,603
合計	合計
212,749	92,603

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(△の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
道路網整備や公共交通の利便性向上について「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇☑	24.3%(H23)	27.5%	25.4%	23.0%	60.0%	38.3%	△	
循環バスの年間利用者数	上昇☑	138,411人(H22)	131,961人	118,330人	118,511人	148,000人	80.1%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)			目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
		基準値(年度)		H28					
公共バス利用者数(戦略4-2)			131,961人(H26)	118,511人	148,000人	80.1%	△		
屋代駅乗降客数(戦略4-2)			4,396人(H26)	4,201人	4,650人	90.3%	△		
その他の達成状況									
・デマンド型乗合タクシーの便数を削減し、運行の効率化を図ったが、前年度に比べ、運行経費が削減できた ・現状のバスの運行便数を増やすことなく、長電バスや鉄道との接続を考慮したり、利用者や運行事業者の意見をできるだけ取り入れてダイヤやルートを見直したところ、29年3月のダイヤ改正後は市民からの苦情はほとんどなかった									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	B:概ね期待どおりの成果あり	○ C:期待をやや下回る	D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)					
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
しなの鉄道屋代駅エレベーター設置等事業	-	-			
デマンド型乗合タクシー運行事業	登録者が増え、利用者が定着してきた反面、新規利用者が伸び悩み、運行経費の削減に苦慮している。	運行事業者とともに、東部地区のいきいきサロンや会合で懇談会を行い、新規利用者の底上げを図る。			
循環バス運行事業	高齢者や交通弱者を中心に利用されていますが、利用者の減少に伴い、運賃収入が減り、運行負担が増大している。	利用人数の少ない時間帯で可能な場合は小型の車両を使用するなどして経費節減を図っていく。			
しなの鉄道受託駅運営事業	五年を限度として駅員の雇用を行っているため、駅員の確保が課題となっている。	JRやしなの鉄道を通じて、駅員(鉄道関係者)の確保に努める。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)

C	<p>交通弱者のための公共交通をできるだけ効率的に運行できるよう1日の運行便数を削減するなどして運行経費の増加の抑制に努めているが、利用者数は微増したものの、運行負担金の削減ができなかった。新規利用者を増やすため、65歳以上の免許返納者に循環バス回数券を交付し、利用者の拡大を図っていきたい。</p>
---	--

外部評価(外部評価委員の意見)

B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環バスは公共交通としていくのか、高齢者福祉としていくのか難しい課題である。</li> <li>・駅の利用促進の観点から駐輪場の無料化を検討されてはどうか。</li> <li>・今のままで行けば公共交通の維持は厳しくなる。貨物と貨客の混合が可能であるかの検討や、スクールバス・観光バスとの混合が可能であるかの検討など、採算が取れるような仕組みを分析・検討する必要がある。</li> <li>・ここまで頑張っていたという側面と、もっとよくなるように市の方に頑張ってもらいたいという意味を込めての評価である。</li> </ul>
---	---

施策の概要	
基本目標(政策)	5 千曲の魅力が交流と活力をはぐむまち
個別目標(達成方針)	5-2 連携による千曲市産業の基盤をつくる【25産業連携】
主要施策	5-2-1 地域資源を生かした産業を創る 5-2-2 豊かな創造力を身につけた人と高い技術を育てる 5-2-3 持続的に発展する産業を支える基盤を整備する

担当部名	経済部
担当課名	産業振興課 企業立地推進課 観光交流課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
千曲ブランド創出事業	信州千曲ブランドの推進に併せ、千曲市のPRと共に地域産業の活性化を図る。また、高付加価値商品や加工食品以外の製品についても新たなブランド化の検討を行う。	-
産業支援センター事業	産業展、物産展(県内外)に出展し、受発注及び販路拡大支援を行う。市内業者に対し、商工団体等と連携し各アドバイザーが企業訪問等を行い、産業支援・相談活動及び産学官連携による新産業への支援やコーディネート等を行う。 ものづくりネットの活動を通して、市内企業の繋がりを強化する。 ものづくり講演会を実施し、産学官連携のきっかけをつくる。	-
雇用対策事業	求職している市民を対象に、就職活動で必要とされるスキル等を扱った講座を開催し、就労に向けた支援を行う。 また、連携中枢都市圏で運営しているおしごとながのやUJIターン促進事業を行い、千曲市企業への就職を促すことにより税収増・人口増を目指す。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
6,002	7,227
19,596	19,378
3,314	2,274
合計	合計
28,912	28,879

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(＼の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
産学官連携に参加する企業数	上昇☑	1事業所(H22)	2事業所	2事業所	5事業所	5事業所	100.0%	◎	
各種産業育成制度の活用件数	上昇☑	276件(H22)	623件	707件	572件	450件	127.1%	◎	
信州千曲ブランド認定業者数	上昇☑	29業者(H22) 108品目(H22)	33業者 126品目	36業者 142品目	36業者 142品目	50業者 200品目	71.0%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)	実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
	基準値(年度)			H28					
市内事業所雇用数			23,150人(H24)	25,922人	23,845人	108.7%	◎		
新規若年雇用者数			236人(H23~26平均値)	228人	250人	91.2%	○		
「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数(戦略1-2)			24件(H24~26)	38件	100件	38.0%	○		
千曲ブランド認定数(戦略1-2)			126品目	142品目	130品目 (新規商品10品目)	109.2%	◎		
創業件数(戦略1-3)			4件(H26.11~27.3)	26件	50件	52.0%	○		
「工場等立地雇用支援事業」の交付人数(戦略1-3)			0人	0人	10人	0.0%	△		
納税義務者1人当たり所得(戦略1-3)			2,666千円(H25)	2,731千円	2,746千円	99.5%	○		
地元産品を新たに使用する事業所数(戦略1-4)			1社	1社	5社	20.0%	○		
新商品開発支援件数(戦略1-4)			1件	2件	5件	40.0%	○		
「おしごとながの」企業登録件数(戦略2-4)			0件(H27)	17件	50件	34.0%	○		
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	b
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	公用車の利用を削減した			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
千曲ブランド創出事業	認定商品の消費者の評価を開く機会が必要である。商品の向上を図りつつ、高付加価値商品の開発を行い、更なる市場の開拓、拡大。	千曲ブランド推進協議会の活動を積極的に進めつつ、信州千曲ブランド認定業者の会の自主的な活動を図る。			
産業支援センター事業	ものづくりネットの活動の活発化	工場見学会や展示会ツアー等、各企業が参加しやすい事業を計画する。			
雇用対策事業	雇用におけるミスマッチの解消	就労支援講座や専門家との個別相談を通じ、就職ミスマッチを解消し定着を図る。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外の産業展(工業展)への出展により、参加企業の受注拡大につながった。</li> <li>・千曲川地域30市町村を一同に会した「千曲川地域ブランドフェア」を「そば祭り」と共同開催した。昨年に比べると来場及び客単価増加したが、イベントのマンネリ化を解消するため、ニーズとシーズが合致したイベント内容の検討が必要と思われる。</li> <li>・千曲ブランドの販路を開拓するため、銀座NAGANOを始め、継続して首都圏で出展を行っている。千曲市ファン増加を行なうため、アンケートを実施し、今後千曲市の情報発信を行なえるように連絡先の取得を図った。</li> <li>・アドバイザーには、積極的に企業を訪問し、相談に対応いただいている外、信州大学地域共同研究センターよりコーディネーターを派遣いただき、産学官連携して市内企業の相談に応じるなど、業務の拡充を図っている。</li> <li>・有効求人倍率が高い中、就職ミスマッチを減らし定着を図ることやUJIターンでの就職促進を図り、人口増加に寄与することが求められている。</li> </ul>

外部評価(外部評価委員の意見)	
<b>B</b>	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	5千曲の魅力が交流と活力をはぐむまち
個別目標(達成方針)	5-2 連携による千曲市産業の基盤をつくる【25産業連携】
主要施策	5-2-3 持続的に発展する産業を支える基盤を整備する

担当部名	経済部
担当課名	企業立地推進課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
企業立地推進事業(都市基盤整備)	屋代地区の都市基盤整備に向けた各種調整と地権者対応	-
企業立地推進事業(企業誘致)	新規企業の誘致と既存企業の立地を支援	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
15,379	63,000
893	1,379
合計	合計
16,272	64,379

成果指標の達成度(Do2)								
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)	H26	H27	H28			
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況
		基準値(年度)			H28			
4人以上事業所1社当たり製造品出荷額等(戦略1-1)			78,682万円(H25)	87,576万円	81,042万円	108.1%	◎	
本社機能誘致数(戦略1-1)			0件	0件	2件	0.0%	△	
ICT産業の「空き事業所活用事業」の交付件数(戦略1-1)			0件	0件	4件	0.0%	△	
その他の達成状況								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋代地区におけるまちづくりを進めるためのグランドデザインを策定するとともに、土地区画整理事業化に向けた地区内地権者への支援により、土地区画整理組合設立準備会が立ち上がった。</li> <li>・産業展覧会の際には企業誘致のパンフレットを配るなど、立地に対する助成制度の周知を図った。</li> </ul>								

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
企業立地推進事業(基盤整備)	開発規制に対する対応	開発手法や整備順序の検討を関係機関や設立準備会と協議する。			
企業立地推進事業(企業誘致)	物件情報の収集	宅建協会等と連携し、企業のニーズに沿った物件情報を提供する。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発に対する法規制や課題を整理し、関係機関と協議を行う。</li> <li>・空き工場等、物件情報の収集方法を検討し、立地相談に対応できる体制を整える。</li> </ul>

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	5 千曲の魅力が交流と活力をはぐむまち
個別目標(達成方針)	5-3 多様な産業群のイノベーション(革新・刷新)による産業の活性化を図る【26産業振興】
主要施策	5-3-1 協働で支える農業・農村

担当部名	経済部
担当課名	農林課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
食料農業農村対策事業	農作物生産振興と農家の経営の安定を図るための助成姉妹都市等への売り込みにより市内農作物の振興を図る。	-
農作物有害鳥獣駆除推進事業	野生獣による農作物被害が恒常化する中で人身被害を憂慮する地域も増えている。このため地域(集落)とともに被害の軽減及び防止に向けて関係団体の協力等を求め必要な事業を行う。	-
郷土食普及推進事業	千曲市としての「郷土色」を構築し、次世代へ農村文化・食文化を伝承するためにも、各団体の活動支援を実施する。	-
農産物販売推進事業	地元産農産物のPR及び経営的な農家直売の実践	-
地域営農システム推進事業	農業従事者の高齢化等により農業経営の規模縮小や離農が進み農業生産を維持することが困難となるため、これに対応するため営農支援センターにより農作業を行う。	-
土地改良事業	農業用道路・水路の改修により維持管理の軽減と農業経営の安定及び生活環境の向上を図る。	-
市有林管理事業	千曲市森林整備計画に沿った市有林の施業を行う。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
24,390	8,629
8,102	456
2,419	342
826	673
5,900	5,404
254,166	237,865
16,487	25,023
合計	合計
312,290	278,392

成果指標の達成度(Do2)										
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	達成率A/B(△の場合B/A)	
		基準値(年度)	H26	H27	H28					
協働の森づくり事業の参加者数	上昇☑	51団体(H23)	51 団体	44 団体	38 団体	60 団体	63.3%	△		
里山の整備	維持☑	50ha/年(H22)	61.9ha/年	40.84ha/年	41.9ha/年	50ha/年	83.7%	△		
遊休農地(耕作放棄地)面積(ha)	維持☑	276ha(H22)	276ha	296ha	296ha	276ha	93.2%	△		
認定農業者数(人)	上昇☑	34人(H22)	37人	26人	28人	39人	71.8%	△		
農家一戸当たりの年間農業産出額(万円) (※算出根拠の変更あり。H26から生産農業所得統計に変更)	維持☑	157万円(H22)	317,000万円	323,000万円	-	現状維持	-	◎		
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	達成率A/B(△の場合B/A)	
		基準値(年度)		H28						
ワイン用ぶどうの栽培面積(戦略1-4)				1ha	2ha	4ha	60.0%	△		
その他の達成状況										

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	B:概ね期待どおりの成果あり	○ C:期待をやや下回る	D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	b
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				

事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)
食料農業農村対策事業	営農コストの増大と販売価格の低迷による、農家所得の低迷。	荒廃農地対策、担い手育成、新規就農者の確保、地産地消、生産基盤の適正管理等、重要課題克服に向けて食料・農業・農村基本計画に基づき、事業展開を図る。
農作物有害鳥獣駆除推進事業	有害獣侵入防止柵が未設置の地域において農作物の被害が多発している。	被害軽減のため地域協議会による有害獣侵入防止柵の設置を推進していく。
郷土食普及推進事業	会員の高齢化、行事のマンネリ化が続いており、改善が求められる。	予算が限られる中で、今ある事業の見直し・新たな事業の導入。
農産物販売推進事業	直接農家が販売に行き、収支が合う販路を構築することがより一層求められる。	直接農家が参入し得る販路の検討。
地域営農システム推進事業	依頼者の増加に伴い、サポーターの不足し、適正な時期、依頼者の希望に対応できない。	サポーターの人員確保・雇用形態の見直し等を検討していく。
土地改良事業	水路等の施工から数十年経過しているものが増え、補修箇所が市内一円に広がっている。	新規に整備することは予算上も難しいので既存の水路の長寿命化を図ることで対応していく。
市有林管理事業	委託業者の施業能力を勘案すると、計画に沿った間伐面積を確保できない。	現状に則した計画に見直しする。

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
C	「食料・農業・農村基本計画」を見直し、これに基づきあみず、花卉、ワインぶどう等販売促進のための振興を進められている。 鳥獣による農作物被害の対策も侵入柵の設置が出来た。これからも地元との協議をもち、事業をすすめていきたい。

外部評価(外部評価委員の意見)	
C	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	5千曲の魅力が交流と活力をはぐむまち
個別目標(達成方針)	5-3 多様な産業群のイノベーション(革新・刷新)による産業の活性化を図る【26産業振興】
主要施策	5-3-2 高い技術を誇るものづくり産業を振興する

担当部名
担当課名
経済部
産業振興課
企業立地推進課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
商工業振興助成事業	商工業者等の育成、従業員の福祉向上、雇用の安定等を図るため、助成金による支援を行う。(商工業振興条例に基づく助成)	-
中小企業金融対策事業	市内の中小企業者等の資金融通の円滑化を支援するため、金融機関への預託金及び資金融資の際の保証料補給を行い、経営の安定を図る。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
113,051	102,945
767,824	876,049
合計	合計
880,875	978,994

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(〃の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
従業者1人当たりの年間製造品出荷数	上昇☑	2,208万円(H21)	2,395万円	2,608万円	2,608万円	2,800万円	93.1%	△	
従業者1人当たりの年間商品販売数	維持☑	2,865万円(H19)	3,011万円	3,083万円	3,493万円	現状維持	121.9%	◎	
事業所数	上昇☑	3,195事業所(H22)	2,908事業所	2,873事業所	2,873事業所	3,200事業所	89.8%	△	
従業者数	上昇☑	25,644人(H22)	25,989人	25,922人	25,922人	25,800人	100.5%	◎	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)	実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
	基準値(年度)			H28					
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	b
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	公用車の利用を削減した			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
商工業振興助成事業	財政状況が厳しい中で、効果的な助成メニューの構築	企業アンケートや費用対効果を検証し助成メニューを構築する			
中小企業金融対策事業	融資需要に対する迅速な対応と経済情勢に見合った貸付利率の設定	金融機関及び信用保証協会との調整			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備投資特別資金の継続により、設備資金の利用が顕著で、既存中小企業の設備投資の喚起に寄与した。</li> <li>利用頻度の少ない助成メニューを見直し、企業のニーズに沿った助成制度を検討する。</li> <li>商業の活性化は、既存商店にあつては経営的に厳しい状況にある。若手後継者の育成及び廃業による空き店舗の増加が大きな課題であり商工団体と連携した取り組みを行う。また、中心市街地活性化基本計画が策定されたため、掲載事業を推進していく。</li> </ul>

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	自己評価・内部評価は妥当である。

施策の概要	
基本目標(政策)	5 千曲の魅力が交流と活力をはぐくむまち
個別目標(達成方針)	5-4 訪れたいくなるまちを育てる【27観光・交流】
主要施策	5-4-1 人を迎え、もてなす心とまちを育てる 5-4-2 だれもが長い時間楽しく過ごせる、観光と交流のネットワークをつくる

担当部名	経済部
担当課名	観光交流課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
観光施設管理事業	安全で利便性の良い観光施設の整備をすることにより、観光客の誘客及び満足度の向上を図る。	-
観光利用推進事業	観光都市千曲市の知名度の向上と効果的な宣伝をすることにより、千曲市への誘客を図る。	-
観光イベント推進事業	各種観光イベントへの補助をすることにより、多くの誘客と地域の活性化が図れる。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
35,550	30,891
62,379	40,596
17,465	18,698
合計	合計
115,394	90,185

成果指標の達成度(Do2)									
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	達成率A/B(△の場合B/A)
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
交流人口(観光地利用者及びイベント参加者数)	上昇☑	183万人(H21)	139万人	188万人	208万人	190万人	109.5%	◎	
戸倉上山田温泉宿泊者数	上昇☑	43万人	40万人	44万人	43万人	45万人	95.6%	△	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)			目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況		
		基準値(年度)	H28						
観光客入込総数			441,800人(H25)	469,500.0人	463,890.0人	101.2%	○		
訪日外国人宿泊者数(戦略1-2)			7,474人(H24)	4,801.0人	15,000.0人	32.0%	△		
観光・地域情報の発信件数(戦略2-1)			0件	95件	365件	26.0%	△		
千曲川マルシェ集客数(戦略2-2)			3,500人(H27)	4,000人	4,000人	100.0%	○		
体験イベント等集客数(戦略2-2)			191組(H27)	90組	340組	26.5%	△		
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策(Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢			判定
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	a
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	-
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)				
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
観光施設管理事業	観光施設の維持管理経費の増大	現在、多くの観光施設を地元区などに管理を委託しているが、管理方法や委託料が適正であるか、改めて検討する。			
観光利用推進事業	高速交通網の充実より、広域観光の重要性が増している。	JRや県内観光関係者と共に千曲市の魅力を積極的にPRし、新たな周遊観光コースを設定する。			
観光イベント推進事業	魅力ある観光イベントにより、交流人口を増加させる。 効率的なイベントの運営を行う。	現在実施しているイベントをさらに磨き上げるとともに、効率的なイベントの運営を実施する。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)	
B	・交流人口を宿泊へ繋げるような滞在型、体験型観光の磨き上げ及びさらなる観光PRを図る。 ・観光施設の効率的な管理方法を検討する。

外部評価(外部評価委員の意見)	
B	市の観光交流課は何をしていて、観光局は何をしているのか、役割を明確にすること。

施策の概要	
基本目標(政策)	6 信頼と連携で力を合わせる市民主体のまち
個別目標(達成方針)	6-1 市民と行政が協働する地域社会をつくる【29住民自治】
主要施策	6-1-2 市民の主体的な地域づくり活動をひろめる

担当部名	企画政策部
担当課名	総合政策課

単位:千円

主要施策を構成する事務事業の内容 (Plan)		
事務事業名	事業概要	終期
協働のまちづくり推進事業	市民と行政が役割分担しながら一緒に考え一緒に行動する市民参画と協働のまちづくりを進める。	-
コミュニティ振興事業	区・自治会及びコミュニティ組織の自主的活動の一部を支援し、「自分たちの地域(まち)は自分たちでつくる」という意識の醸成を図る。	-

コスト(Do1)	
H28決算見込	H29予算
10,390	13,712
11,573	23,000
合計	合計
21,963	36,712

成果指標の達成度(Do2)							達成率A/B(〳の場合B/A)		
「千曲市総合計画後期基本計画」 成果指標	目指す 方向	実績値(A:直近の実績)				目標値 H28(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)	H26	H27	H28				
市民と行政の協働によるまちづくりについて「まあ満足」以上と感じている市民の割合	上昇〳	22.4%(H22)	20.0%	18.1%	22.2%	70.0%	31.7%	△	
市政に関心を持つ人の割合	上昇〳	67.5%(H22)	69.0%	60.3%	63.4%	75.0%	84.5%	△	
NPO法人の総数	上昇〳	11法人(H22)	17法人	18法人	19法人	15法人	127.0%	◎	
地域独自の事業、市との協働事業の数	上昇〳	178事業(H22)	456事業	146事業	277事業	200事業	138.5%	◎	
地域コミュニティ組織の数	上昇〳	4組織(H22)	6組織	6組織	7組織	6組織	117.0%	◎	
「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 重要業績評価指標(KPI)		実績値(A:直近の実績)				目標値 H31(B)	達成率 A/B	達成 状況	
		基準値(年度)			H28				
その他の達成状況									

主要施策の現状評価(Check)			
A:期待以上の成果あり	○	B:概ね期待どおりの成果あり	C:期待をやや下回る
			D:期待をかなり下回る

事務事業の見直し・改善策 (Action)					
見直し・改善の着眼点		選択肢		判定	
必要性	実施主体は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	住民からの要望があるか	a 強い要望あり	b 要望あり	c ほとんど要望はない	b
有効性	主要施策に対する貢献度は	a 高い	b 普通	c 低い	a
	指標達成に向けての有益性は	a 高い	b 普通	c 低い	a
効率性	コスト効率は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
	受益者負担は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	b
その他	安全管理は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境へ配慮は適正か	a 適正である	b 検討・改善の余地あり	c 適正でない	a
	環境配慮を実施した内容(上記を選択した根拠)	実施会場・回数を減らし経費電気量ともに削減した			
事業名	課題	改善計画(見直し・改善内容)			
協働のまちづくり推進事業	①成果指標の達成度では、「まあ満足」以上と感じている市民や「市政に関心を持つ」市民の割合を高めていくために、協働によるまちづくりのさらなる浸透を図る必要がある。 ②区・自治会、市民活動団体と行政が共に抱えている課題解決のため制度を確立する必要がある。 ③まちづくりに携わる市民活動団体あるいは市民が、お互い活動の報告や情報交換また、人材育成等について話し合える場の確保が必要。 ④協働事業の質をさらに高め、市民サービスの向上に結び付けるために、PDCAサイクルによる事業の進捗管理、改善・見直しが必要になってくる。	課題①②⇒市民と行政が課題解決に向かって取り組んでいく“協働事業提案制度”を市民活動団体だけでなく、区・自治会や企業も活用できるように事前説明会を開催する等更にPRしていく。 課題③⇒市民活動交点センター『えりあねっと』では、市民活動団体に対する相談業務や学習会開催、市民活動団体向けのサイト開設など取り組んでいるが、平成29年度では、運営協議会を設立する予定となっており、市民団体の横断的連携を図るとともに、既存センターの在り方も含めて検証する必要がある。 課題④⇒行動計画「実行プラン」に盛り込まれている事業について、事業の質を高め、市民サービスの向上に結び付けることが可能となるよう、協働のまちづくり市民委員会を評価機関として外部評価を実施した。			
コミュニティ振興事業	①区・自治会等への周知 ②新たなメニューの追加による制度の拡充	課題①市内72区・自治会それぞれが本制度を活用できるように周知の徹底を図る。②地域で抱える課題に対応できる新たなメニューの追加を研究して、より使いやすく、より効果的に活用されるよう制度の拡充を図る。			

内部評価(「主要施策」全体に対する評価及び課題の総括)

B	<p>①千曲市協働事業提案制度については、平成27年度に採択された事業について、提案団体と担当課で課題解決に向けて取り組むことができた。2月に開催された協働のまちづくりシンポジウムでのパネルディスカッションでは中間発表会を開催し、市民と行政の一体感を得ることができた。</p> <p>②行動計画「実行プラン」に盛り込まれている事業について、事業の質を高め、市民サービスの向上に結び付けることが可能となるよう“自己評価から外部評価までを実施した。</p> <p>③行動計画については、平成29年度から平成33年度までを第2期の実施期間としたことから、庁内及び市民委員会あるいは、パブコメなどから意見を聞きながら策定に向けて準備を進めた。(H29.6月策定)</p> <p>④平成28年度も“市民活動団体交流会(2回・約120名)”が市民主体で開催された。また、職員の協働に関する研修会開催や地域リーダー養成塾・長野県元気づくり実践塾等に職員が受講するなど協働に対する意識の醸成を図った。</p>
---	--

外部評価(外部評価委員の意見)

B	自己評価・内部評価は妥当である。
---	------------------